

IoT活用へ人材育成

県ポリテクセンターと連携

県内中小製造業でIoT（モノのインターネット）を活用できる人材を育てるため、県産業技術センターと山梨職業能力開発促進センター（ポリテクセンター山梨）が連携事業を始める。ポリテクセンター山梨が新たな教育訓練プログラムを実施して育成を担当。中小製造業でIoTの導入を進め、県内企業の生産性向上や業務負担軽減につなげる。

〈土屋真佑子〉

類の新セミナーを開催。中小企業から派遣されてきた人たちが、希望するセミナーを選び受講する。来年度からはポリテクセンターが通常行つて

いる職業訓練の標準コースの中に組み込む。両センターは24日、連携事業に関する覚書を交わした。ポリテクセンターの田中信用所長は「自社で対応できないIoT人材を一人でも増やし、県内中小製造業の振興への第一歩にしていきたい」と

話した。県産業技術センターの初鹿野晋一所長は「製造業の人には訓練を受講してもらい、ポストコロナの反転攻勢に向けて生産性や技術力の向上、課題解決で企業の活性化につなげてほしい」と話した。



県産業技術センターはこれまで独自にオンラインセミナーなどを開き、IoTを活用できる人材育成を実施してきた。しかし希望者が増え、中小企業へのIoT導入や課題解決を進める事業に影響が出てきたため、ポリテクセンター山梨に人材育成を委託することにした。

ポリテクセンター山梨は本年度、生産プロセスのIoT化に必要な技術を学べる3種

連携事業について説明する県産業技術センターの担当者

― 甲府市中小河原町